

## 死亡災害発生状況報告

|   |   |      |  |                     |   |
|---|---|------|--|---------------------|---|
| 災害発生日時  | 平成28年11月30日(水) 14時過ぎ  |      |  | 天候                  | 晴れ  |
| 港名  | 細島港   | 業種区分 | 港湾荷役業 <input checked="" type="checkbox"/> 、港湾荷役業以外 <input type="checkbox"/> B' |                     |   |
| 事業所名  | -----   |      |  |                     | 規模 54人  |
| 事業所所在地  | 宮崎県日向市  |      |  |                     |   |
| 災害発生場所  | 宮崎県日向市細島港岸壁   |      |  | 区分                  | 港湾 <input checked="" type="checkbox"/> A 港湾以外 <input type="checkbox"/> A'     |
| 被災者氏名   | -----   | 性別   | 男  | 年齢                  | 59歳   |
|   |   | 職種   | 港湾作業職  | 雇用形態                | 常用  |
| 被災の程度   | 死亡  | 作業名称 | チップ置き場の整理  | 経験                  | 20年   |
|   |   |      |  | 作業区分                | 港湾作業 <input checked="" type="checkbox"/> C 港湾作業以外 <input type="checkbox"/> C' |
| 労災保険適用業種  | 港湾貨物取扱事業 <input checked="" type="checkbox"/> 沿岸荷役業 <input checked="" type="checkbox"/> 船内荷役業 <input type="checkbox"/> |      |  |                     |   |
| 事故の型(記号)  | 墜落・転落(1)  |      | 起因物(記号)  | 動力運搬機(フォークローダー)(22) |   |
| 使用機械等   | フォークローダー  |      | 本船揚貨装置段取り  |                     |   |
| 災害の概要   |   |      |  |                     |   |
| ① 被災者は、物揚げ岸壁のチップ置き場において、フォークローダーの運転業務に従事し、排土板のアタッチメントを装着して、チップを集積する荷繰り作業を行っていた。                                 |   |      |  |                     |   |
| ② チップの荷繰り作業が完了し、方向転換のため後方にバック走行した時、高さ15cmの岸壁の端の車止めを乗り越えて、フォークローダーとともに海に転落し、死亡した。                                |   |      |  |                     |   |
| ③ チップの荷繰り作業は単独作業で行われ、転落時には共同作業者等はいなかった。   |   |      |  |                     |   |
| 災害の原因と考えられるもの   |   |      |  |                     |   |
| ① 使用するフォークローダーが安全に走行し、海に転落することのないような適切な高さの岸壁の車止めやバリケードが岸壁の海側に設置されておらず、また、誘導もされていなかったこと。                         |   |      |  |                     |   |
| ② 事前にフォークローダーが海際の岸壁で安全に作業・走行するための作業範囲、走行路、運行についての細部の計画が作成・周知されていなかったこと。   |   |      |  |                     |   |
| ③ フォークローダー運転者の後方確認が徹底できなかったこと。  |   |      |  |                     |   |
| 対策として考えられるもの  |   |      |  |                     |   |
| ① 岸壁からの転落防止のためチップヤード内について、安全に作業できるよう、バリケードを設置して、走行できる範囲を明らかにしておくこと。<br>岸壁が狭く、運転者だけで安全に走行出来ない場合は、誘導員を配置し、誘導すること。 |   |      |  |                     |   |
| ② 海際の車止めの高さを高くする等港湾管理者に改善を要請して、チップヤードの安全環境改善を進めること。   |   |      |  |                     |   |
| ③ 狭隘な場所で安全に作業や走行ができるようフォークローダーにバックモニター等の安全機器を装備すること。  |   |      |  |                     |   |
| ④ 岸壁で安全に作業・走行するための作業範囲、走行路、危険箇所回避のための作業方法についての細部の計画を作成し、周知すること。   |   |      |  |                     |   |
| ⑤ フォークローダー運転者に後方の指差呼称等確認の徹底を教育すること。   |   |      |  |                     |   |